

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 012	提案機関名 横浜農業協同組合
要望問題名 ナシ、ブドウ果実におけるCaの生理作用の解明と効果的かつ効率的な供給方法・時期の検討	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 ・近年、高頻度で発生するナシ「豊水」のミツ症、「あきづき」のコルク状果肉障害は、ナシ生産の不安定化の原因となっており、老木園の改植やナシ園経営継続のネックとなっています。また、増植傾向のブドウ「シャインマスカット」では、かすり症が散見されており、高品質生産の障害になっています。 ・上記の生理障害の一因として、果肉や果皮中のCa不足が指摘されており、Ca資材の土壌施用や葉面散布などが現地では行われています。しかしながらその効果がはっきりと現れない状況です。 ・そこで、これらの果実におけるCaの働きについて解明するとともに、果実が必要な時期、必要量および効果的かつ効率的な供給方法についてご検討いただきたいと思います。 ・対象地域は横浜市全域（ナシ50ha：1100t、ブドウ14ha：146t）	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 備考欄の各資料にCa資材による対策技術の記載がありますので、参考にしてください。 一方で、いずれの生理障害も品種特性や気象条件の影響も大きく、完全に防ぐことは難しいと考えられます。被害が大きい園地等では品種更新も含めて検討をお願いします。 なお、ナシ、ブドウの優良品種を選定するため、農研機構育成新品種の適応性を検討していますので、適宜情報を提供します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考 豊水のみつ症 農業技術体系果樹編3. 技328の6～11 ニホンナシ「あきづき」および「王秋」の果肉障害対策マニュアル 農研機構果樹茶業研究部門 シャインマスカットの果皮褐変障害（カスリ症）の発生原因と対策 農業技術体系果樹編2. 技341～349			